

# 障害者福祉

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 末永 恭

■使用テキスト

一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集  
『最新 社会福祉士養成講座 8 障害者福祉』中央法規出版 2021

◆参考テキスト

## 講義概要・一般目標

現在の福祉ニーズは複雑化・複合化した問題が存在しており、従来の縦割り制度から横断的な制度を超えた支援を行う人材が求められている。そのため、どの分野であっても包括的に相談を担える人材を養成していく時代となっており、これからは、単に障害福祉制度につなげるための支援だけでなく、ベースに「障害」があるかもしれない対象者を取りこぼさない支援が必要である。

本講義を受講することで、広義の障害者福祉を学び、複合化・複雑化した課題を受け止め、多機関の協働による包括的な相談支援体制を構築できるようなソーシャルワーカーとなる人材を育成していく。

## 到達目標

- 1) 障害者の定義と特性を理解する。
- 2) 障害者福祉の理念を理解する。
- 3) 障害者福祉の歴史を理解する。
- 4) 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題を理解する。
- 5) 障害者に対する法制度を理解する。
- 6) 障害者の家族等の支援における関係機関と専門職の役割について理解する。
- 7) 障害者と家族等に対する支援の実際について理解する。

## 評価方法

科目単位認定試験により評価。

## 学習指導

### 第1章 障害者の定義と特性

#### この章のポイント

障害者の定義について学ぶとともに、それぞれ（身体障害・知的障害・精神障害・難病等・発達障害）の障害特性と支援内容がどのようなものか概要を理解する。また、「ICF（国際生活機能分類）」成立の経過と理論的な特徴を学ぶことで、障害を持つ人の人権について考えると同時に、医学モデルから社会モデルへの変遷について理解する。

## 第2章 障害者福祉の理念

### この章のポイント

障害者への差別偏見・障害観の変遷を理解する。特に、昨今問題となっている優生保護法による不妊手術など排除目的とされていた障害者への処遇を学ぶことで、自分なりの障害観を培ってもらいたい。また、世界における障害者福祉の理念の歴史を学ぶことで、これまでの障害者に対する対応の変化（排除から融合、多様性と共生に至るまで）を理解する。

## 第3章 障害者福祉の歴史

### この章のポイント

それぞれの障害種別に対する日本での処遇について、歴史的背景を学ぶことで現在の障害者福祉施策がどのように成り立っていったのかを学ぶ。その中で、制度が変わるパラダイム転換期には、何かしらの出来事があるという事を知る。また、当事者運動から変化していく障害福祉制度を学ぶことで、当事者の声を聴くことの重要性を理解する。

## 第4章 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題

### この章のポイント

障害者の生活実態を学ぶことで、現在の障害者の置かれている状況や、障害児・者の親やきょうだい、子育てに関する障害者のニーズと支援のあり方について学ぶ。また、障害者を取り巻く社会環境では、バリアフリーやコンフリクトという相反する問題や、障害者虐待の現状について理解する。

## 第5章 障害者に対する法制度

### この章のポイント

障害児・者が関係する法律は障害者施策の理念を掲げた障害者基本法、サービス給付に関する障害者総合支援法・児童福祉法はもとより、障害種別ごとに定義された法の内容や手帳制度がある。それぞれを関連したものとして理解することで、総合的な法制度の全体像を把握する。

## 第6章 障害者の家族等の支援における関係機関と専門職の役割

### この章のポイント

障害者福祉に関係する関係機関は多岐にわたっている。それぞれの役割と専門性を理解することで、多機関連携に対する認識を高めるとともに、障害者支援に必要なチームアプローチの概念を学ぶ。

## 第7章 障害者と家族等に対する支援の実際

### この章のポイント

事例をもとに、それぞれの障害種別に対しどのような支援が必要なのか理解すると同時に、関わる機関の必要性と役割について理解する。また、アセスメントから支援の展開、フォローアップといったケアマネジメントの一連の流れについても理解する。